課題解決の筋書（ロジックモデル）

パプアニューギニア国鰹節製造に関するニーズ確認調査（丸啓鰹節株式会社）

漁・・・漁業者・船会社
政・・・政府・行政
ワ・・・工場ワーカー

資源

ヒト
モノ
カネ

・工場管理者の派遣
・工場操業の為の技術
・工場設立のための投資

活動

- 漁業者・船会社の調査を実施する。
- 工場を建設する。
- 生産設備を導入する。
- 工場ワーカーの採用活動を行う

結果

- A,漁業者・船会社からのカツオ仕入れ取引関係が構築される
- B,工場の運営を開始する。
- C,工場ワーカーが採用される。

成果

初期（～1年）

- 1.カツオが仕入れられる。（漁）
- 2.半加工の鰹節が精算される。（地域資源を活用した地場製造業が生まれる）（政）
- 3.半加工の鰹節が日本に輸出される。（政）
- 4.工場ワーカーが雇用される。（ワ）
- 5.ワーカー教育が提供される。（ワ）

中期（～3年）

- 6.カツオ仕入れ取引が安定・拡大する。（漁）
- 7.半加工の鰹節の生産が安定・拡大する。（政）
- 8.日本への輸出額が増加する。（政）
- 9.雇用が拡大し、地域の就労状況が安定する。（ワ）
- 10.工場ワーカーが成長する。（生産技術の取得や社会人としての成長）（ワ）

長期（～5年）

- 11.地域漁業が活性化する。（漁）
- 12.漁業者・船会社の業績が安定する。（漁）
- 13.地域製造業が活性化する。（政）
- 14.外貨獲得により地域経済が発展する（政）
- 15.地域の人々の所得・生活水準が向上する。（ワ）